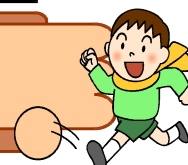




2学期 最終月となりました



ついこの前までは、「季節外れの暑さ」が話題に上ることも多かったのですが、12月に入り季節らしい寒さの日が続くようになりました。ゆるやかに季節が移り変わることが日本の情緒でもあったのですが、だんだんと「昨日」と「今日」が全く違うということも珍しいことではなくなりつつあります。2学期は日々の教室での学びに加えて、体育祭、けやき祭、PTA授業参観、3者面談、各学年校外学習、ボランティア活動、縦割り活動や委員会活動等々たくさんの学びの機会がありました。その都度、保護者の皆様・地域の皆様にはたくさんのご支援・ご協力をいただき本当にありがとうございました。

「思いやりのある児童生徒づくり」をめざして地域の教育力を生かし取り組んでいる「作物の栽培・収穫」につきましても、今年も長竿シニアクラブ・長竿農地を考える会の皆さんにご協力いただきながらジャガイモ・サツマイモ・ダイコンの植え付け・収穫を体験することができました。この取組がスタートした開校当時は、土に直接触れることや、特徴のある昆虫に出会うことなどに不安感や抵抗感をもっていた児童生徒も見られましたが、畑の学習も6年目となった今年は、積極的に畑に入り「指示を待つ」から「自ら探す」という姿勢がだいぶ見られるようになりました。学年学級では事前に学習課題をしっかりと確認し、取組み、畑から戻ってから学びを振り返るということを実施しています。これはどの教科でも同じです。そうすることで、「収穫できてうれしい」ということだけにとどまらず、どの学習で得た力を発揮して今日の学習が深まったのか、次にはこんなことをやってみたいのか等、学びが教科を越えてつながっていくと考えています。今後もさまざまな学びを点ではなく、線や面でとらえ、広げていこうと考えています。



人権講演会

一人一人が自他の個性を尊重し、互いの違いを認め合える人間関係を形成できる力の向上をめざして、本校では毎年いろいろな立場の講師の方をお招きし、人権講演会を実施しています。今回はパラアスリートの馬島誠さんを講師にお招きし、11月10日に後期課程に向けて実施しました。馬島さんは大学生時代、事故が原因で車椅子生活になりました。講演では、障がいやパラスポーツについて教えていただいた後、グループに分かれて講師の馬島さんと遊ぶ計画をたてるという構成でした。「障がいや運動の得意・不得意にかかわらず<みんなが楽しい>を念頭において考えてほしい」と最初に馬島さんからお話がありました。そこから、「車椅子では走れるのですか?」「ボールは扱えますか?」といった率直な質問が飛び出しました。「できないことはできるように工夫すればよい」という馬島さんのお話を聞きながら生徒たちの考えも少しずつ変化していったように思います。



最後に代表3グループが馬島さんを交えて実際に遊び、全体で感想を共有しました。力強い講演に圧倒された生徒たち。「違いを受け入れて互いを思いやる大切さ」「周囲の人の笑顔のためにがんばる力」について学んだ2時間でした。





1年生！体験入学で大活躍



11月8日に、来年度入学予定のお友だちとかわち学園1年生による体験入学会を実施しました。始めに全体会を体育館で行いました。学校案内役の1年生、初の大役で少し緊張しているようでしたが、案内をするお友だちの手をしっかりとにぎる姿は上学年として「しっかりがんばろう！」という気持ちが表れていました。全体を「教室で勉強を体験するグループ」「校舎内を見学するグループ」の二つに分けて進行しました。教室で勉強を体験するお友だちに寄り添ってアドバイスをする姿、それぞれの教室前で立ち止まってしっかりと説明する姿に1年間の成長を感じました。今回の体験入学会でできたつながりが4月からも続くといいなと思っています。



学校運営協議会による学校訪問がありました

河内町には学校運営協議会という組織があります。学校運営協議会のある学校を「地域とともにある学校」といい、「コミュニティ・スクール」ともいいます。学校運営協議会では地域代表の方・教育委員会・学校とで、地域や学校の未来について話し合ったり情報交換を行ったりします。河内町では平成30年度かわち学園が開校したときからこの活動を開始しました。学校運営協議会は学校を核とした地域づくりをめざしています。学校を支援していただき、児童生徒の育成に関わっていただくことによって、地域の皆さんがより親しくなったり、仲間ができたり、仲良く暮らすことができるようになることが考えられるからです。また、地域の教育力と児童生徒が出会えるようなアイデアの提案や相談にもものっていただきます。学校では、児童生徒、保護者の皆さん、外部評価者、本校教員に実施している学校評価アンケートや学校内の各種取組の成果・振り返りを参考にしながら、毎年度始めにグランドデザイン(学校の目標)を設定します(令和5年度のものがかわち学園のホームページで公開中)。このグランドデザインを学校運営協議会で説明し、承認を受けます。そして年間数回、委員の皆さんによる学校訪問があり、進捗状況を確認していただきます。今回の訪問ではおもに児童生徒の授業への取組を見ていただきました。アットホームな雰囲気の中で授業が展開されていること、一人一人が課題をもって生き生きと学習していること、ペアやグループで意見を交換しながら自分の考えを深めていること等を評価していただきました。児童生徒を取り巻く地域の環境は年々変化していきます。地域の皆さんと力を合わせながら児童生徒のこれからを考えていきたいです。



(文責 秋山 美穂)